

令和8年度注目事業

※千円単位は四捨五入

子ども応援

小・中学生の給食費無償化の実施

令和7年度から実施している中学生の給食費無償化に加え、市内全小学校（公立）の給食費を無償化します。

※諸事情により給食の提供を受けていない児童・生徒に対しては相当額を助成



7億4,041万円

子ども応援

就労要件を問わない乳児等通園支援事業

すべての子育て家庭に対して、保護者の多様なニーズに応えるべく、就労要件を問わず利用できる乳幼児等通園支援事業を実施します。

対象者：保育所等に通っていない0歳6か月～満3歳未満の子ども

利用時間：子ども1人あたり「月10時間まで」



926万円

熱中症対策

東部福祉センター体育室の熱中症対策、屋根・空調設備などの改修

屋根の老朽が進んだ東部福祉センター4階の体育室について、新たに空調設備を設置するとともに、屋根を改修し断熱などの処理も行うことで、夏場も快適に利用できるよう、改修工事を実施しています。

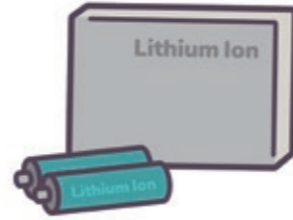


7,686万円

分別対策

リチウムイオン電池等分別対策

リチウムイオン電池などの適正な分別と安全な回収を促進するため、回収袋の全世帯配布、ごみ分別アプリや分別学習コンテンツの作成、回収ボックスの増設などを実施し、市民の分別意識の醸成と知識の向上を図ります。



1,314万円

犯罪防止

市民見守り防犯カメラの刷新と一括管理体制の整備

市内通学路を中心に設置している見守り防犯カメラ300台と町会から移管された防犯カメラ98台を一括管理できるように刷新するとともに、設置場所も見直し、一層の犯罪抑止体制の強化を図ります。



2億5,300万円（令和8～9年度債務負担行為）

事故防止

事故の抑止効果が期待できる鉄道駅ホームドアの設置

長年にわたって東日本旅客鉄道株式会社大宮支社に要望した結果、順次、ホームドア設置に着手する方向性が示されたことから、鉄道駅のバリアフリー化に対する補助制度に基づいて、鉄道事業者を支援します。

対象駅：北戸田駅、戸田駅
整備時期（見込み）：令和8年度～9年度



2億4,000万円（令和8～9年度債務負担行為）

令和8年3月定例会

議案などの
詳細はこちら

主な議案

今定例会では、令和8年度予算を含め、市長提出議案38件、請願1件、陳情3件、議員提出議案2件が提出されました。ここでは、賛否が分かれ、討論が行われた議案などを紹介します。

条例 議案第1号 戸田市立公園条例

原案可決（賛成20人 反対3人）

反対 日本共産党戸田市議団
むとう 葉子 議員



本条例の提案までのプロセスに問題あり。利用者の意見を反映しない惣右衛門公園サッカー場の照明廃止に反対。

賛成 戸田の会
野澤 茂雅 議員



本条例は管理基準の統一で公平性の向上を目指すものである。照明廃止は合理的判断であり財政と住環境の両立に資する。

条例 議案第4号 戸田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

原案可決（賛成20人 反対3人）

反対 日本共産党戸田市議団
花井 あきこ 議員



今後も継続的に低所得者に負担増を強いることとなり、将来も増税継続見込みで制度趣旨も不適切である。

賛成 戸田の会
小沼 さゆり 議員



国の制度に基づく不可避の措置であり、子育て支援の安定的な財源確保の観点から現実的な判断として賛成。

補正予算 議案第13号 令和7年度戸田市一般会計補正予算（第10号）

原案可決（賛成20人 反対3人）

反対 日本共産党戸田市議団
本田 哲 議員



余剰金約45億円は基金の積立だけでなく物価高対策に活用すべきであり、財政部局を中心にそのような議論を行うべき。

賛成 戸田の会
矢澤 青河 議員



財政調整基金は防災と財政安定の要であり、余剰ではなく適正運用である。目先の事業に充てる安易な取崩しを避けるべき。

一般会計 議案第22号 令和8年度戸田市一般会計予算

原案可決（賛成22人 反対1人）

反対 保守の会
河合 ゆうすけ 議員



おおむねの施策は評価できるが、国際交流、外国人支援等の必要性や効果に疑問がある。また、保育士対策も不十分である。

賛成 戸田の会
宮内 そうこ 議員



全体として市民生活と将来投資のバランスが取れている。個別課題はあるものの、総合的に妥当な予算である。

賛成 日本共産党戸田市議団
本田 哲 議員



市民生活・子育て・教育・安全・多文化共生・若者支援に重点を置き、過去最高予算で要望を実現した本予算案を評価する。